

2019年度 事業計画

1 基本方針

県内の経済は全体では回復しつつあり、雇用情勢は、着実に改善しており、人手不足感が引き続き強い状況にあります。

人口減少、超高齢化社会が急速に進展する中、労働人口の減少による人手不足解消の重要な担い手として、高齢者に対する社会の期待が高まっています。その期待に応えるためにもシルバー人材センター事業のより一層の拡充が求められています。

一方、当センターの会員数の推移をみますと、平成23年度をピークに減少傾向が続き、地域からの要望に応えるだけの会員数を確保できない状況が発生しています。会員拡大は安定的な事業運営を図るためにも喫緊の課題です。

そのため、全国シルバー人材センター事業協会が策定した「会員100万人達成計画」に基づき、達成目標を設定し、会員の入会促進の強化を図る必要があります。会員を増やす手段には決定的な対策はありませんが、様々な手法で市民にアプローチし、センターをもっと知ってもらおう工夫が必要だと考えます。広報媒体の活用、入会説明会の工夫、女性会員の加入促進の取組み等の強化を図ってまいります。また、会員自らが新入会員獲得に努めることが必要です。さらに、会員の入会促進だけでなく、退会抑制にも努めてまいります。

シルバー人材センターの基本理念である「自主・自立、共働・共助」を役職員及び会員が自覚し、自主的な事業運営への積極的な参加とその担うべき役割を明確にし、地域社会に密着した事業運営に取り組んでまいります。

2 事業計画

(1) 会員の増強

会員の増強は、安定的な事業運営を図るための根幹であることから、会員自らが入会勧誘を積極的に行う必要があります。

また、市広報や地方紙への広告、コミュニティ放送でのCM広告や宇部郵便局内ロビーでの広告放映を実施します。また、うべまつりや商業施設での街頭キャンペーン、出張入会説明会の開催、ホームページへの最新の求人情報の掲載など、様々な広報活動を展開することで会員の増強を図ります。

さらに、入会促進だけではなく、退会抑制を図ることも重要であるため、福利厚生として「会員のつどい」の充実や趣向を凝らした親睦旅行を実施します。

(2) 就業先の開拓

事業の発展を図るためには、就業先の開拓が重要であることから、就業開拓委員会及び就業相談員はもとより、会員、役職員一人ひとりが就業開拓に努めます。特に、会員は、就業の場を活用し、自ら就業開拓に努めます。

(3) 組織体制の強化・充実

「自主・自立、共働・共助」の理念のもと、連帯意識を基調に緊密な連絡体制と効果的な事業展開を図るため、各専門委員会は積極的かつ自主的・主体的な運営を推進し、職群班、地域班についても体制強化・充実を図ります。

(4) 安全・適正就業の徹底

安全就業は、シルバー人材センター事業の原点であり、会員は「安全はすべてに優先する」を強く自覚し、傷害・損害事故の撲滅に努めます。

そのため、「安全就業基準」の遵守徹底など組織をあげて取り組むとともに、就業中の事故だけでなく、就業途上における交通事故防止や健康管理に留意するよう会員の意識高揚を図ります。また、安全パトロールを強化し、安全就業の指導を徹底し事故防止に努めます。

適正就業については、「就業機会適正基準」の遵守により会員の就業機会の公平・適正化を図り、会員への就業機会を公平に提供するため、グループ就業やローテーション就業を行うなどワークシェアリングを積極的に進めます。また、未就業者への就業提供を促進し、就業率の向上を図ります。

(5) 普及啓発活動

シルバー人材センター事業の理念や仕組みを幅広くアピールし、理解と支持を得るためには、日々のセンターの活動が最高の広報活動です。

会員は就業先や市民的行事など、あらゆる機会をとらえ、センター業務の紹介に努めます。

また、センターをもっと知ってもらうために様々な広報媒体を積極的に活用することで普及啓発に努めます。

(6) 地域社会への貢献

シルバー人材センター事業は、地域社会を基盤とし、その理解と支援のもとに地域社会に密着した事業を展開しています。

各地域班が行うボランティア活動は、その地域に貢献する絶好の機会と捉え、会員の積極的な参加に努めます。

(7) 労働者派遣事業（シルバー派遣事業）

幅広い就業ニーズに対応するため、請負・委任業務では対応できない就業については、シルバー派遣事業を活用するなど法令や社会規範を守ることが徹底し、就業機会が失われることのないよう適切に対応します。